

びわこ学院大学の基本理念と教育目的

本学の母体である学校法人滋賀学園の創始者森はなの 80 余年の長きにわたり提唱してきた「地域に貢献できる人材育成」を建学の精神として、広く知識を授けるとともに、深く専門の学術を教授研究し、国際的な視野及び幅広く高度な学識を身につけた有為な人材を育成し、もって地域社会の発展と学術・文化の向上に寄与することを目的とする。

教育福祉学部子ども学科 ディプロマ・ポリシー（卒業認定・学位授与に関する方針）

知識・技能	①子どもの心身の成長・発達に対し、一人ひとりの学習や生活を支援しうる教育及び福祉について専門的知識・技能を修得している。
思考・判断・表現	②教育及び福祉をめぐる様々な問題状況を積極的に予見・発見し、的確な処置のできる視座を有している。 ③教育者・保育者等の専門的職業人としての情熱と倫理観を持ち、豊かな表現力を身につけている。
関心・意欲・態度	④自己の学習課題を明確にし、課題解決のための継続的な研鑽ができる。 ⑤人間関係を豊かに育てることができる“人格的な資質”を持ち、異文化理解を踏まえた国際的な視野に立って、地域社会の一員として適切な行動ができる。

教育福祉学部子ども学科 カリキュラム・ポリシー（教育課程の編成方針）

建学の精神、ディプロマ・ポリシー（学位授与の方針）を達成するために、「教養科目」「専門科目」で教育課程を編成する。授業科目は、講義、演習、実習・実技等を適切に組み合わせて開講する。

- 教養科目は、複眼的・領域横断的な視野を獲得するために、「①大学入門」「②外国語」「③人文・社会・自然」「④プロジェクト科目」「⑤体育・実践科目」「⑥留学生」に区分して授業を開講する。
①大学入門…大学における学びの基本の習得、社会で活躍する際に基盤となる社会性及び自立性の養成をする。
②外国語…「読む・書く・話す・聞く」の4技能の習得をする。
③人文・社会・自然…バランスのとれた豊かな教養の習得をする。
④プロジェクト科目…自ら課題を発見し、解決するための力を習得する。
⑤体育・実践科目…健康の基礎づくりへの理解の促進を図る。
⑥留学生…基本的な日本語会話の習得、日本事情の理解（留学生限定科目）を図る。
- 専門科目は、「⑦学部共通科目」を設け、教育福祉学部としての必修科目を開講する。また、「⑧学科基幹科目」を設け、子ども学を体系的に理解するための必要な授業科目を配置し、全て必修科目とする。選択するコースに応じて「⑨初等教育科目」「⑩学校保健科目」「⑪幼児教育科目」「⑫総合マネジメント科目」の授業を開講する。
⑦学部共通科目…「教育」と「福祉」の双方の視点、立場を身につけるための基盤となる多様な価値観を学ぶ。
⑧学科基幹科目… 子ども理解を深め、課題を探究する基本的態度、表現力、主体性を育み、さらには多様性を受容する姿勢を身につけるため、1年次に「子ども学基礎演習Ⅰ」、2年次に「子ども学基礎演習Ⅱ」を開講する。
また、子どもを取り巻く諸課題のうち自ら選択した課題を対象に、専門知識や思考方法の習得及び創造的思考力を習得するため、3年次に「総合演習」、4年次には「卒業研究」を開講する。
⑨初等教育科目 ⑩学校保健科目 ⑪幼児教育科目…
乳児期、幼児期、児童期へと連続した教育、健康、福祉に関する実践的指導力を身に付けるため、教育者・保育者を目指す学びを積み上げ、確実な指導力を持つ専門職の養成を目指す。
⑫総合マネジメント科目… 教育や福祉を地域社会や産業の課題とも関連付けて総合的にマネジメントするため、必要な実践的知識・技能や、課題発見・解決力を幅広く習得できる専門職の養成を目指す。

上記教育課程を通じて、教育者・保育者等の専門的職業人や地域社会の発展に貢献できる人物がもつべき知識・技能、思考力・判断力・表現力、豊かな人間性を育む。

各科目の学習成果は到達目標・評価基準に照らし合わせて評価する。